



なばり

2017年(平成29年) 4月10日号

主 内容

- 1~2.....安心できる子育て環境を目指して「名張の保育のこれから」
- 3.....平成29年度当初予算編成
- 4.....施政方針・主な事業内容
- 7.....施設ご利用ガイド
- 8.....市立病院開院20周年記念事業

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp



安心できる子育て環境を目指して

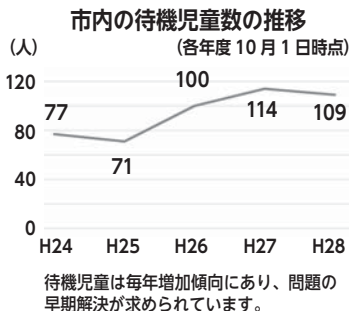
名張の保育のこれから

近年、核家族が一般的になりました。女性の社会進出の増加、雇用形態の多様化による共働き家庭が増えたことにより、保育ニーズが高まっています。さらに保育士不足も重なり、全国的に待機児童が増加しています。

今号では、待機児童ゼロを目指し、平成29・30年度に市内で新たに開園される予定の保育施設の紹介や保育士確保の取組みなど、これからの名張の保育について紹介します。

☎ 保育幼稚園室 63・7919

名張市には、平成28年10月時点で109人の待機児童がいます。女性の社会進出が進む中、保育が原因で働くことができない保護者が増えていることは問題です。市では、平成30年度当初での待機児童ゼロを目指し、保育施設の整備事業を進めています。しかし、保育施設を新たに開園するためには、園庭を含めた広大



名張市は、少子化などにより人口は減少傾向にありますが、世帯数は毎年増え続けています。核家族や共働きというライフスタイルが一般的になり、保育の需要は高まり続けています。

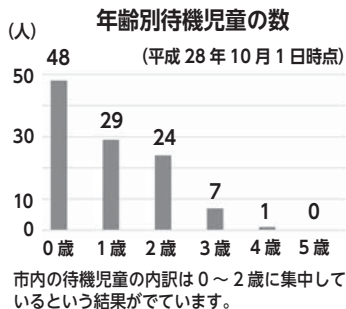
平成30年度当初で待機児童をゼロへ

保育幼稚園室 室長 貝増 輝幸



また、幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持つ「認定こども園※2」が、昨年4月に市内で初めて整備されました。今後も待機児童の解消や地域の子育て支援を行う施設として引き続き普及を図っていきます。これらの施設整備により、平成29・30年度の合計で7つの保育施設の開園を計画しており、定員が172人の増となる見込みです。待機児童問題の他にもさまざまな課題はありますが、安心できる子育て環境を目指した事業を着実に進めていきます。

また、幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持つ「認定こども園※2」が、昨年4月に市内で初めて整備されました。今後も待機児童の解消や地域の子育て支援を行う施設として引き続き普及を図っていきます。これらの施設整備により、平成29・30年度の合計で7つの保育施設の開園を計画しており、定員が172人の増となる見込みです。待機児童問題の他にもさまざまな課題はありますが、安心できる子育て環境を目指した事業を着実に進めていきます。



な土地の確保などさまざまな課題があります。そこで、「地域型保育事業※1」の整備も含めた受け入れ枠の拡充を行っているところです。0歳児から2歳児を対象とした、地域型保育事業であれば、近くの公園など、屋外遊戯場として使える代替地があれば運営が可能になるなど、通常の保育施設に比べ開園しやすいことに加え、待機児童の大半が0歳児から2歳児という状況も考慮した結果、整備することになりました。

2ページへ続く

用語解説

※1 地域型保育事業…定員19人以下の少人数で0～2歳の子どもを対象とした保育で4種類あります。(家庭的・小規模・事業所内・居宅訪問型)
 ※2 認定こども園…教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っています。